

第8学年 美術科 年間指導・評価計画

目 標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点及びその趣旨

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

月	時 数	単元名 教材	学習内容・ねらい
4 5	6	p. 2～5 学びの実感と広がり 多彩な表現に挑むのはなぜだろう p. 6-7 あなたの美を見つけて p. 8-9 この教科書で学ぶみなさんへ p. 12-13 視点の冒険	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞作品について、視点の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさ、イメージの変化などを感じ取る。 見慣れた風景を視点の位置を変えて見つけ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、単純化や強調、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。 主題を基に絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求しながら絵に表す。 互いの作品を鑑賞し合い、視点を変えることの面白さを味わったり、表現の工夫などを話し合ったりする。
6 7	6	p. 42-43 つくって使って味わう工芸 p. 57 木でつくる 金属でつくる	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある手づくりによる製品を取り上げ、材料の特性や質感などについて鑑賞する。 材料の持ち味や、使う場面などから主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 主題を基に、材料や用具の特性を生かしながら制作する。 互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。
7	1	p. 32-33 手から手へ受け継ぐ p. 53 受け継ぐ伝統と文化	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統工芸品を鑑賞し、気付いたこと、感じたことを話し合う。 工芸作品の形や色彩、材料、技法に着目し作風や印象などについてまとめる。 人の手による技の素晴らしさや作者の思い、生活と深く関わってきた工芸品のよさなどについて発表し合う。
9	2	p. 24～29 浮世絵はすごい p. 54 北斎の大波	<ul style="list-style-type: none"> 浮世絵作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 出された意見を基に、構図や色彩、線、彫りや摺りの特徴、作風や作品の印象などに着目しながら浮世絵の表現のよさや特性をまとめる。 制作者たちの意図と創造的な工夫について考え、美術文化の継承と創造などについて考えたことをまとめ、発表し合う。
	1	p. 30-31 文化の出会いがもたらしたもの p. 60～63 日本美術と世界美術の歩み	<ul style="list-style-type: none"> 西洋の美術作品に影響を与えた日本美術作品のよさや美しさはどのようなところにあったのか、作品の特徴や時代背景なども視野に入れながら考え、意見を述べ合う。 ジャポニスムの表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造など

			について考えたことをまとめ、発表し合う。
9 10	3	p. 36-37 ジジジチカピカ ポッポッパッ	○自然光や人工的に作り出す光、またそれらによる影の様子などを鑑賞し、その効果や印象などについて感じたことを話し合う。 ○光が作り出す空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出す。 ○主題を基に、光の色や影の効果を考えながらランプシェードなどを制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。
10 11	6	p. 10-11 瞬間の美しさを形に p. 56 人物を作る	○一瞬の人の動きの躍動感や緊張感、美しさなどから感じ取ったイメージを基に主題を生み出す。 ○関節や重心の位置、「のびる」「ためる」などの動きの感じなどについて考え、形、色彩、材料などについて構想を練る。 ○主題を基に材料や用具を工夫し、人の瞬時の美しい動きを立体に表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や躍動感を表現する工夫などについて話し合う。
12	1	p. 22-23 なんでこれが美術なの？ p. 5 学びの言葉 岡本太郎 p. 50-51 岡本太郎 芸術はみんなのもの	○現代美術の多様な表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ○作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。 ○発表意見や教師の解説、自分の考えから現代美術のよさや美しさ、面白さなどについてまとめる。
1 2	5	p. 38-39 ひと目で伝えるための工夫 p. 64 色彩の特徴を深く知る	○身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。
2 3	2	p. 20 - 21 水と筆を操る p. 55 水墨画の表現	○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。 ○互いの作品や作家の作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。
3	2	p. 44-45 暮らしやすさのデザイン	○さまざまな立場の人が安全に暮らせるために工夫された製品などのデザインについて鑑賞し、特徴をまとめる。 ○機能と美しさとの調和や使う人や場所などから主題を生み出し、アイデアスケッチと作品解説文を作成する。 ○主題を基に、使う人の立場や気持ちを考えながら制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫などについて話し合う。 ○誰もが安全で豊かに暮らすためのデザインの働きなどについて、考えたことをまとめ発表し合う。

【かがやきの評価について】

- 1 知識・技能
「授業態度」「提出物」「作品」
- 2 思考・判断・表現
「授業観察」「提出物」「作品制作過程」「作品」
- 3 主体的に取り組む態度
「授業観察」「課題への取組」「提出物の状況」

